

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

えくてびあん

(EKUTEBIAN VOL.15 OCTOBER 1996 EKUTEBIAN)

10

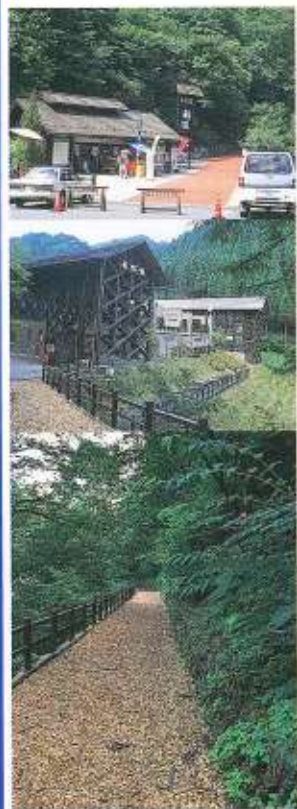
BOULANGERIE



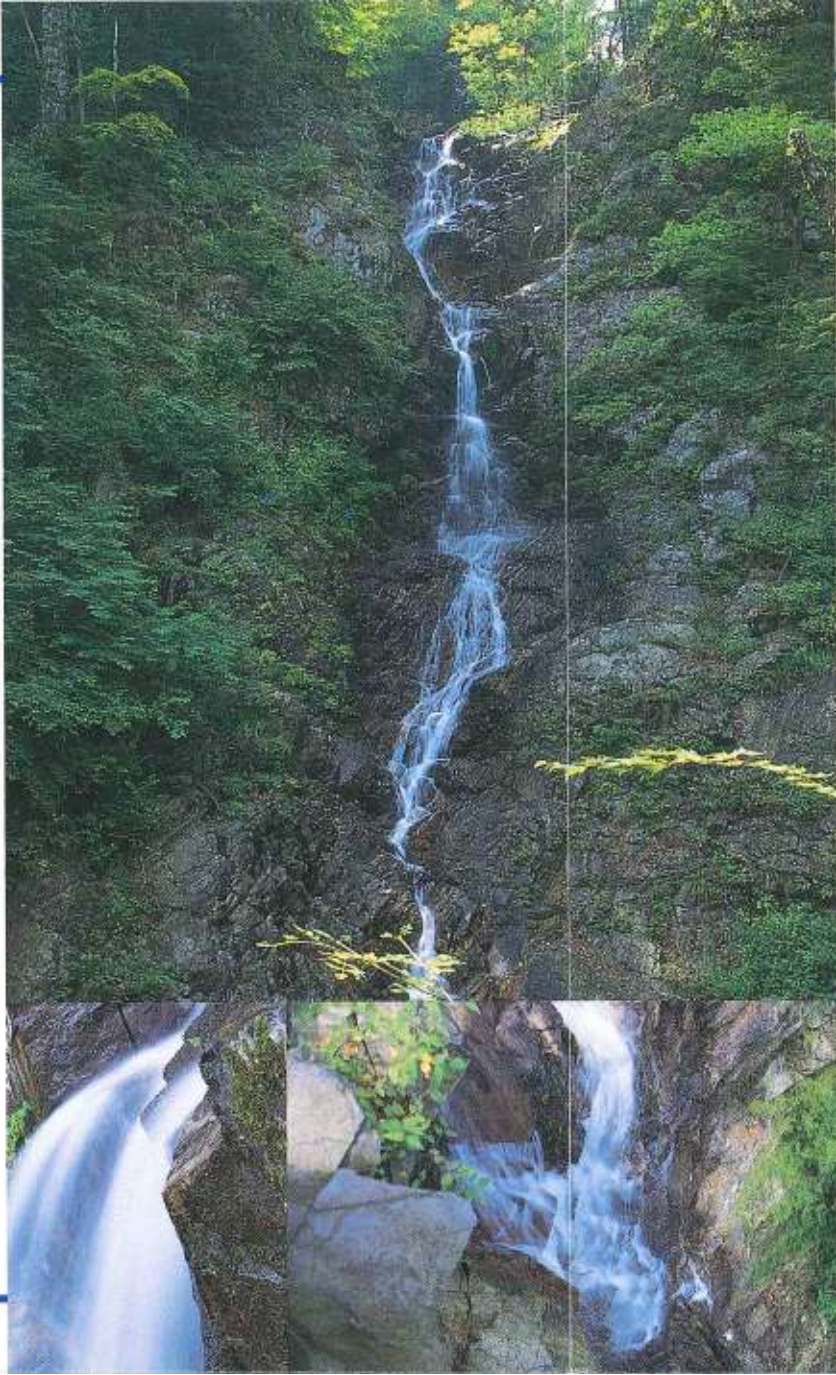
さいごの油絵「BOULANGERIE」 by 筒井 雅成

檜原村・三頭大滝

南秋川の最上流三頭沢に南秋川最大の三頭大滝がある。山道を汗することなしに「東京都民の森」の遊歩道を利用すると、20分ほどの散策で落差35メートルの滝が迎えてくれる。滝の対岸には滝を望むためだけのつり橋がかかり、ブナの原生林に囲まれて流れ落ちる優雅な全容を見渡すことができる。都民の森のオーブンによって、誰もが気軽に訪れることができるようになった滝である。



滝までの遊歩道はチップが敷き詰められていて歩きやすく、子ども連れにも安心。滝までのコース以外にもたくさんのハイキングコースが設定されている。



えくてびあんレポート

オトコの ゆうとぴあ

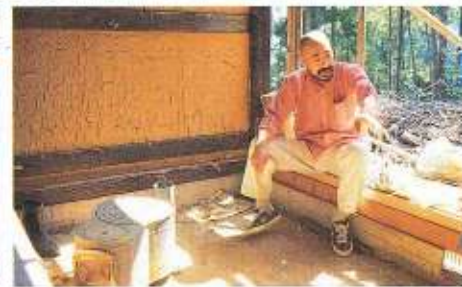
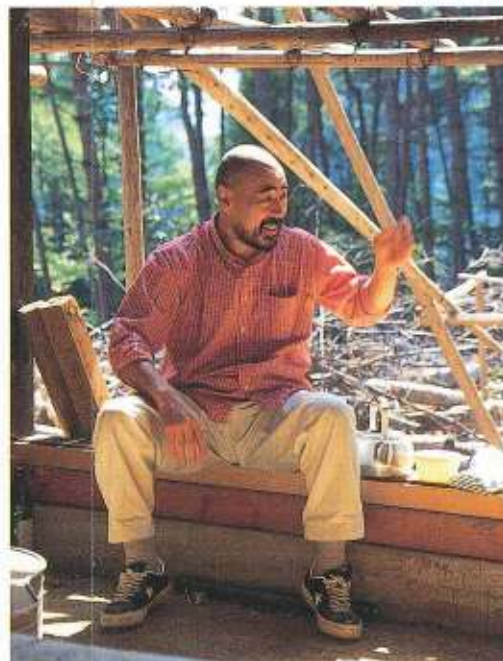


黙々と壁をぬる男——竹内洋介さん。ふだんは手打ち蕎麦『無庵』(曙町)のご主人だが週末ともなると、いそいそと小淵沢(山梨県)まで出掛けて、なんと一軒の家を建築中なのである。

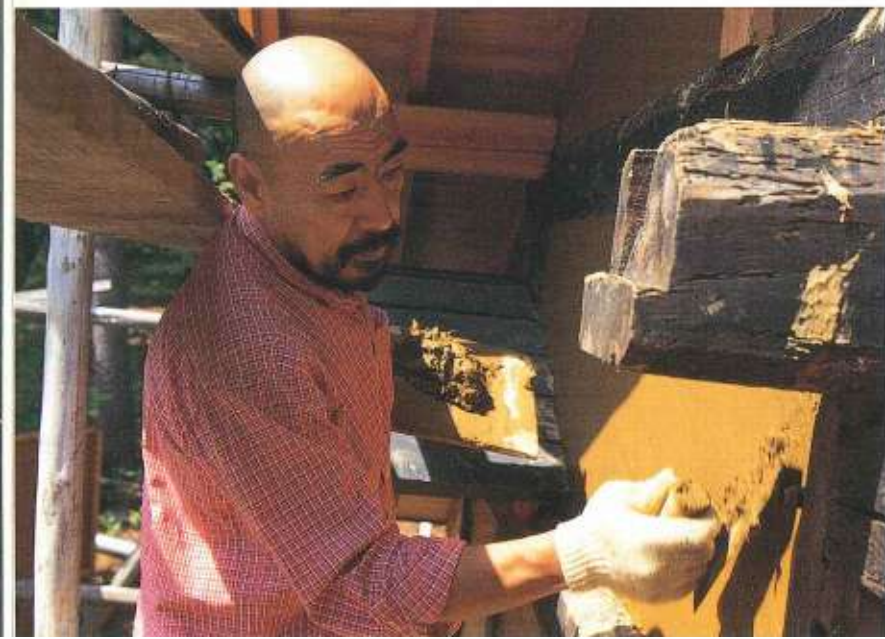
で、今はちょうど壁をぬる作業のまっ最中という次第。設計からはじまって出来るところは全部自分でこなして行こうという壮大なDo it your self!

ここに竹内さんは少年の頃から見つけて来た「ユートピア」を築こうというのである。

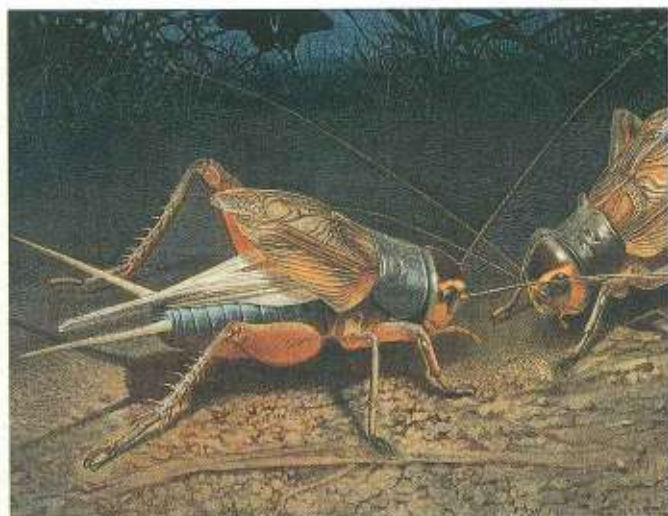
名付けて『ハヶ岳倶楽部』。いつ、完成すんのかなあ?



静岡から2軒の民家を移築して、合体させた。井戸を掘ったら、水が出てきた。ブルドーザーで庭の粘土をワラとこねて、壁土にする。近隣に畑を借りて、蕎麦の種をまき、その蕎麦を手打ちにしようというのだから、ユートピアのあるじはどこまでも、蕎麦の人。



絵・文 中西 章 (若葉町)



【エンマコオロギ】

画題目コオロギ科

大型のコオロギで、そのさえるような美声の故に、古代から愛されて来た。明るい草原が好きで、市内の畑、庭の芝生などに普通にいるが、特に多摩川の堤防に多い。土中で冬を越した卵は、5月頃幼虫になり、草や他の昆虫を食べて、地面でくらす。8月中旬頃成虫になり、鳴き始める。なわばりの「本鳴き」、メスを呼ぶやさしい「さそい鳴き」、オス同士の鋭い声の「けんか鳴き」、と三通りの鳴き方をする。11月の枯野で、生を終ろうとする、かほそい鳴き声をきくと、ひとしおうら悲しさを感じる。